

彩の国ロードサポート NEWS



彩の国さいたま

彩の国ロードサポートについての情報は、県道路環境課ホームページをご覧ください。

道路環境課ホームページ <http://www.pref.saitama.jp/A08/BF00/index.htm>

編集・発行：埼玉県県土整備部道路環境課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

TEL 048-830-5103(直通) FAX 048-830-1942

ロードサポートの認定状況

平成16年10月1日現在で

169団体

約8,800人

～ 目 次 ～

1. ロードサポート座談会(行田県土整備事務所)・・・P 1
2. 県からのお願いです・・・・・・・・・・・・・P 2
3. 活動団体の紹介・・・・・・・・・・・・・P 3
4. 国体からのお知らせ・・・・・・・・・・・・・P 4

1. ロードサポート座談会(行田県土整備事務所)

今回のロードサポート座談会は、県の東部、行田県土整備事務所の管内で活動されている皆様に出席いただきました。

行田県土整備事務所管内には、地域住民のほか、企業として活動されている団体も多く、企業としての取り組み方について様々なご意見をいただきました。

1 参加したきっかけは

歩道上の草の朝つゆで、通学中の学生が濡れてしまっていたのを見たのがきっかけ。

以前から、缶拾いを行っていたところ、町役場でロードサポートを知った。

地域に歩道橋が新設され、周辺をきれいにしようと考えた。

ISO14000(環境マネジメントシステム)の認証を取得した事もあり、企業として環境美化に取り組みようと考えた。

2 実際に活動して感じたこと

【ポイ捨ての状況】

早朝、トラックからのポイ捨てが多い。

タバコの吸い殻や学生の捨てた食べ物の包みが多い。

【活動の実績】

30名で実施している。夏場は雑草が多く、90リットルゴミ袋で14～15袋となった。

1日5袋程度になる。

4班体制で活動している。

【活動の効果】

1週間に1度の清掃を1年間続けたが、最近では2～3週間ごとでよくなった。

歩道の雑草をとることがポイ捨ての防止になっている。

ドライバーからも注目があつたので、ポイ捨て防止の効果があるかもしれない。

【活動時の苦勞】

5～6月にかけては草がひどく、サポート活動外の区間も草刈りをした。

舗装の継ぎ目に生えている草取りが大変である。

【その他、気づいた事】

民地からの枝が歩道を覆っているところがある。

休耕地がゴミ捨て場になっている。



3 活動時の交通安全対策について

会社の制服・ヘルメット・白手袋を着用。
車道に出ない。黄色のタスキと運動靴を着用する。しゃがまないようにトングを使用する。
ゴミ回収用の車を路上駐車しないようにしている。
ゴミの収集は渋滞時を避けている。
徒歩で作業を行うこととしている。自転車や歩行者の邪魔にならないように配慮。
朝の通勤通学時の混雑を避け、月曜の朝礼後に行っている。
通行者に迷惑がかからない時間に作業する。
ゴミの分別収集についてミーティングを行った後、作業を実施している。
作業前に注意を促す。



4 県や市町村への要望はありますか

タスキのような、活動が通行人から分かる安全具がほしい。

【県から】 通行者からもロードサポートだと分かり、自転車等に注意を促す事のできるような用具を現在検討しています。今年度中には、何らかのものをお配りしたいと考えています。

清掃されていない場所（ロードサポートの区間外）に対してPR活動をやるべきである。
市の広報誌や彩の国だよりの特集面（広報テーマ）などを活用して制度のPRにつとめてはどうか。

【県から】 市には2月ぐらいに依頼をしており、誌面の都合がつけば掲載してもらっています。
彩の国だよりの広報テーマには、ロードサポートが事業として日が浅く、これまで企画を提出していませんでしたが、県全体での環境への取り組みとして、他部局と連携した形で広報テーマの提出を検討していきたいと思います。
このほか、チラシの配布や彩の国だよりの情報版でのPRを実施しています。

5 その他、なんでも

【ゴミ箱の設置について】

自販機などでは、ゴミ箱のないところがほとんどである。
公園では家庭ゴミが持ち込まれるという理由でゴミ箱が撤去されている。
コンビニのゴミ箱にゴミを戻すと、自分のところの売り物ではないといやがられてしまう。
これでは、結局はゴミが拡散してしまう。

【意識の変化について】

自分の軒先をきれいにする、よい風習が復活してきている。
税金を払ったのだから、官地には手を入れないという考えが変わってきている。

【活動の工夫】

「道路ふれあい月間」などの行事と連携させれば活動もしやすいのではないか。



当日は、お忙しいなかをご出席いただき、ありがとうございました。
皆様からいただいたご意見は、今後の支援内容に活かせるよう検討してまいります。

今回出席いただいた団体の皆様（順不同）

- 【行田市】小川工業クリーンクラブ / 大澤建設(株)クリーンサークル
- 【加須市】さつき倶楽部 / サイレキ・クリーンクラブ
- 【羽生市】羽生市建設業協会
- 【騎西町】牛重県道美化里親クラブ / 立山桜美会 / フジフラワークラブ松井
- 【北川辺町】柳生停車場クリーン会
- 【川里町】上会下環境美化

2. 県からのお願いです

車道での活動や機械を使った作業はご遠慮ください

昨年来、自動車にあおられて足をくじいたり、草刈り機のはねた小石が走行中の乗用車のガラスを割るなど、活動中の事故についての報告がいくつか寄せられています。

県では、活動中の万一の事故に備えてボランティア保険に加入していますが、体の痛みや心労は、保険で補いきれるものではありません。

そこで、サポート団体の皆様には、エンジンやモーターを用いた機械の使用や高所での作業、歩道以外での作業など、危険を伴うと思われる作業は控えていただくようお願いします。もし、これらの作業が必要と考えられる場合には、県土整備事務所へご相談ください。

また、安全な場所であっても車両通行の監視役の人を置くなど、安全確保に十分な配慮をしていただくようお願いします。

3. 活動団体の紹介

ここでは、彩の国ロードサポートの認定団体として活動されている皆様を紹介します。
団体の写真やコメントは、それぞれの個性もお伝えできればと考え、出来るだけそのままの形で掲載しています。
なお、コメントの頭の数字は、以下の質問に対応しています。

メンバー数 活動場所 これまでの活動 団体の特徴 ロードサポートを知ったきっかけ ロードサポートに参加した理由
活動して感じたこと 活動に対する反響は？ 県や市町村への要望 その他言いたいことなど！

ドクダミの会

(平成14年8月認定・和光市)

18名

国道254号 和光市中央1丁目～本町23

年間6回以上で状況に応じて活動する。

これまでの活動回数：15回

平均年齢63才の女性がほとんどのグループです。

和光市報を読んで知りました。

私たちにできる、ボランティア活動を捜していた時に、ロードサポートの募集を知って申し込みました。

交差点の信号待ちをしながらのたばこのポイ捨てが多いようです。

ポイ捨て禁止を県や市でもっと強く働きかけていただきたいと思います。

雑草を取ったり清掃した後の2・3日はきれいになったと感じて頂けるようですが、あまり関心がない様に思っています。

捨てられた自転車などの収集を市にお願いしても、すぐにはしていただけませんでした。

3ヶ月以上そのままの状態でした。

私たちはロードサポートの他、中央公民館をお借りし、月に2度開くパソコン教室で教え合ったり、春と秋には旅行をして楽しんでいます。

何でも一生懸命になってしまう仲間です。

ロードサポートも、気がつけば皆、無言で作業をしていて、終わった時にはクタクタになっています。

あき缶、ゴミ拾いをしようと始めたはずが、今では雑草まで取るようになりました。

もう少し活動回数を増やせれば良いのですが、無理せず長く活動して

いきたいと思い、このペースで行っています。

きれいな街は誰もが気持ちよく、きれいな所にゴミは捨てにくいはずで。

私たちの力は小さいですが、きれいで住み良い街を願い、これからも続けていきたいと思っています。



小手指メンズクラブ

(平成14年6月認定・所沢市)

42名(男性のみ)

国道463号バイパス 小手指ヶ原交差点から所沢西高入口交差点間に係る両側300m

年間6回 延べ12回実施

従来地域社会との関わりが希薄な男たちが、小手指公民館が企画した男性専科の講座「小手指メンズカレッジ」の修了生がクラブを立ち上げ、50才代から70才代の男達が、男の視点で地域社会に関わっていこうとする、小手指メンズクラブが誕生しました。

会員相互の信頼と友情の輪を広げながら、心身の健康や豊かな情操、創造性の涵養に努め、様々な活動を通じて、快適な地域社会づくりのお手伝いが出来るよう願っています。

14年広報、彩の国だよりをみて

会の目的のひとつ「快適な地域社会づくりのお手伝い」と、何かボランティア活動をしていきたいとの思いと、募集のタイミングがよかったから。





宅迄へ持ち帰り、回収日に出しているが、活動日に活動拠点までゴミ回収車を回してほしい。

花壇も出来たので年間を通した花作りの計画援助をしてほしい。

街路樹・電柱等に張付されている違反広告物除去活動が出来る様検討願います。

ボランティアの仲間入りが出来た充実感と継続は力なり。明らかにサポート以外の歩道の汚さが目に付きます。我々ではこれ以上出来ませんが。

各方面に募集を呼びかけ、ロードサポートの輪を広げてほしいです。

活動している所はピンカンのポイ捨ては、2年前と比べて半減している。(きれいだと捨てづらいのですよ)

今後ともロードサポート掲示看板に笑われないよう、清掃美化と花壇作りに勤んでいきたい。

毎回雑草などゴミ袋が30袋前後有り、参加者が手分けして自

ロワール文化会

(平成14年6月認定・菖蒲町)

26名

主要地方道川越栗橋線 菖蒲町下栢間バス停から菖蒲町中井バス停まで約5kmの上下線の歩道(何組かに分散して活動)

年間12回(第3日曜)雨天翌週

ロードサポート認定前16回 認定後25回 計41回

町の環境を良くしようと言うのが主体で歩道の清掃の他、犬のフンの除去などを行っている。今、当会で考えているのは緑を多くして昆虫を戻そうと言う企画をたてている。県の協力をお願いします。

町に何かボランティアは無いかとグループを作り、町の生活環境課に何をしたらよいかたずねた所「公園はシルバーの方がやっているので道路の清掃をしてくれ」との事で県道の清掃を毎月定期的に約1年半行って来た所、町の生活環境課より道路の里親の話があった。

町の生活環境課の話より会員と相談の上、会員が賛成。特に理由は無いが町よりすすめられた。杉戸県土整備事務所では初めての申請であるから、ぜひにと云う事で申請した。

6月7月は特に雑草が多く、7,8月は空き缶、ペットボトルが特に多い。バス停前はタバコの投げ捨てが多い。一時全バス停に灰皿を設置したが現在ぜんぶこわされている。

初めの頃は何の団体か聞かれたが今では歩道に面した住民の方が車の駐車に庭を貸していただける方が数軒有り、たまにドリンクを差し入れていただく事も有ります。

私達は、あくまでもボランティア団体ですので、特に要望等は有りませんが一つだけ希望として、認定標識を清掃距離が5kmも有りますので、もう一箇所設置出来ないものか、あくまでも希望で有ります。

非常に良い制度で有ります。私達の町にも多くの団体が参加するようになると良いですね。

県や町で効率の良いアピールがほしいです。

今後も私達は県と町の美化に協力させていただきます。



きれいな埼玉で迎えよう！ ～彩の国ごみゼロ県民運動～

彩の国まごころ国体

秋季大会 平成16年10月23日(土)～28日(木)

皆さんは、「広告塔」をご覧になったことはありますか？

彩の国まごころ国体実行委員会では、景観及び安全を損なうことのないよう配慮した「広告塔」を、国道254号線沿い、国道463号線沿いなど県内の道路12か所に設置。このほか、広告幕や横断幕、カウントダウンボードなどを設置して、国体をPRしています。

「彩の国まごころ国体」秋季大会の競技は、県内63の市町村で開催。全国からたくさんの方が埼玉県を訪れます。電車や車の窓からふと見た景色が、ごみのないきれいな街であってほしいものです。彩の国ごみゼロ県民運動にぜひ御参加ください。



国道254号線沿い(東松山市)の広告塔